

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

2025年3月期 中間期

決算説明資料

円谷フィールズホールディングス株式会社

東証プライム市場
証券コード 2767

2024年11月

(単位：億円)

連結P/L	2024年3月期		2025年3月期		
	中間期	通期	中間期	対前期増減率	通期予想
売上高	670.1	1,419.2	457.6	△31.7%	1,550
売上総利益	123.4	264.5	124.9	+1.2%	-
販売管理費	69.7	146.3	84.2	+20.7%	-
営業利益 (対売上高営業利益率)	53.7 (8.0%)	118.2 (8.3%)	40.7 (8.9%)	△24.2%	152 (9.8%)
経常利益	59.0	129.4	53.3	△9.8%	161
親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	41.2	116.9	28.2	△31.5%	116
1株配当金(年間)		40円			40円

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

※ 2024年3月期(通期)については、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を反映した数値を記載

(単位：億円)

事業セグメント別P/L		2024年3月期		2025年3月期		
		中間期	通期	中間期	対前期増減率	通期予想
コンテンツ&デジタル事業 セグメント	売上高	74.0	153.3	79.9	+7.9%	180
	営業利益 (対売上高営業利益率)	19.8 (26.7%)	37.8 (24.7%)	21.1 (26.5%)	+6.9%	40 (22.2%)
PS事業セグメント	売上高	590.2	1,255.9	371.9	△37.0%	1,350
	営業利益 (対売上高営業利益率)	45.0 (7.6%)	104.1 (8.3%)	31.2 (8.4%)	△30.7%	135 (10.0%)
その他	売上高	8.0	16.0	8.3		
	営業利益	0.2	0.1	0.0		
調整額	売上高	△2.2	△6.1	△2.6		
	営業利益	△11.3	△23.8	△11.7		

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

コンテンツ&デジタル事業セグメント

(単位：億円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	中間期	中間期	対前期増減率
売上高	74.0	79.9	+7.9%
営業利益 (対売上高営業利益率)	19.8 (26.7%)	21.1 (26.5%)	+6.9%

	2024年3月期	2025年3月期	
	中間期	中間期	対前期増減率
円谷プロダクション売上	48.9	56.9	+16.3%
うち、MDライセンス収入	34.2	39.7	+15.9%
海外MDライセンス	23.4	31.7	+35.0%
国内MDライセンス	10.8	8.0	△25.7%
うち、映像・イベント収入	15.5	15.6	+1.2%
海外収入	27.2	36.4	+34.0%
国内収入	22.5	18.9	△16.1%

※千万円未満は切り捨てて表示しています。 ※MD：マーチャндаイジング ※FMCG：日用消費財

MD/ライセンス

▶ 詳細は次ページに記載

- 中国の消費者に幅広いカテゴリーの商品が着実に浸透し、中国ライセンス収入は、前年同期比41.2%増で大きく伸長
- 海外MD/ライセンス収入全体は、前年同期比35.0%増

映像・イベント

【映像事業】

- Netflixにて世界190の国と地域で独占配信中の『ウルトラマン：ライジング』も映像事業収入に貢献

【ライブ・イベント事業】

- 国内大型イベント『ウルトラヒーローズEXPO サマーフェスティバル』を東京に加え新たに大阪でも開催
- アジアの主要な国と地域で開催したイベントでファン層拡大に寄与

(単位:百万円)

主要商品カテゴリー別収入

トイ&ホビー

- ・ブロック玩具のライセンス収入が大幅に伸長
- ・低価格帯玩具のライセンシーの幅が拡大

<玩具>



ライフスタイル

- ・文具中心にライセンス収入が増加
- ・日用生活雑貨も堅調に推移

<衣料品や文具など>



FMCG

- ・とくに食品分野が増収

<食品など>



カードゲーム

- ・中国での従来の蒐集型カードのライセンス収入は、『ウルトラマンカードゲーム』発売を控え前年比で減少した一方、今期1Q比で増加。

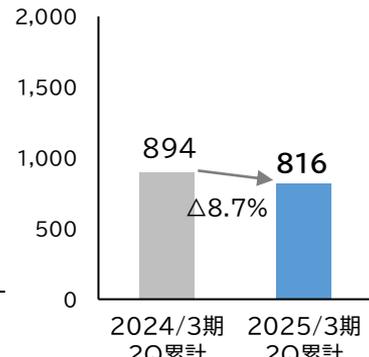
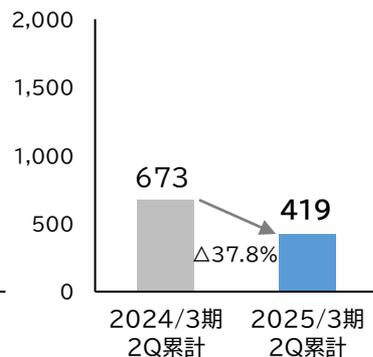
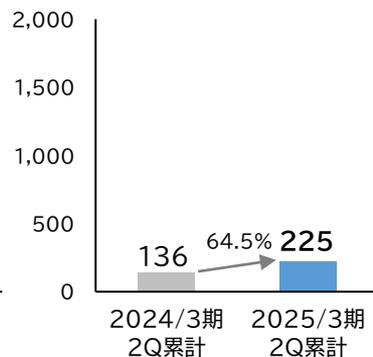
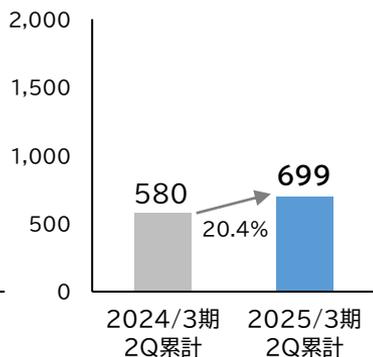
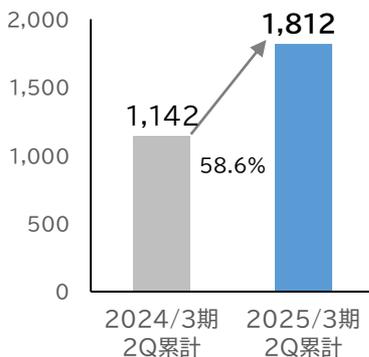
<カードゲーム>



その他

- ・中国でのゲームや企業広告のライセンシーの裾野が着実に拡大

<ゲームコラボや広告、書籍など>



『ウルトラマン カードゲーム』を10月より販売開始

- 初回出荷がグローバルで700万パックを超える好調な滑り出し、想定を超える販売消化率で推移
- 2025年1月には新たなエクストラデッキ商品及びブースターパック商品をグローバルで発売予定
- 各地域の特質に合わせたプロモーションをグローバルで展開

<ウルトラマンカードゲームの出荷状況(速報ベース)>

	出荷枚数
国内	約2,200万枚
海外	約2,200万枚
うち中国	約1,400万枚
うちアジア	約500万枚
うち北米	約200万枚
うち欧州	約70万枚
総受注	約4,400万枚

○ スターターパックおよびブースターパック



TVCM/WEB

TV出稿、YouTube配信、「ウルトラマンアーク」見逃し配信にて配信



15秒CM【ヒーロー集結編】



15秒CM【宇宙人&怪獣集結編】

YouTube配信



ウルトラマンカードゲーム情報局

各種WEB PV



プレイのしやすさ訴求



世界大会実施訴求



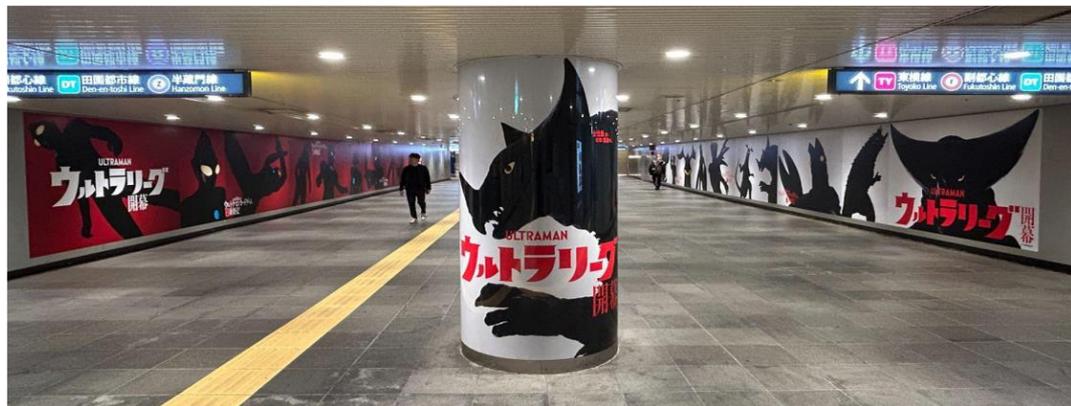
商品ごとに訴求



ウルトラリーグPV

街中広告（渋谷・秋葉原/東京、日本橋/大阪）

渋谷道玄坂ハッピーボード・アドサークル



AKIBA Aiビジョン



大阪日本橋オタロードポスターセット



PS事業セグメント

(単位：億円)

	2024年3月期	2025年3月期	
	中間期	中間期	対前期 増減率
売上高	590.2	371.9	△37.0%
営業利益 (対売上高営業利益率)	45.0 (7.6%)	31.2 (8.4%)	△30.7%
販売実績			
パチンコ販売	85,748台	20,961台	△75.6%
パチスロ販売	40,277台	27,675台	△31.3%
合計	126,025台	48,636台	△61.4%

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

市場環境

- 本年7月に日本政府より約20年ぶりに実施された新紙幣発行に対応すべく、全国のパーラーは大規模な設備投資を実施
- 上半期のPS総販売台数は合計で前年同期比10.3%減で推移

PS事業セグメントの状況

- ダイコク電機と業務提携を発表

<フィールズ(株)>

- 当期は、下半期に重点を置いた商品ラインナップ
 上半期 : パチンコ・パチスロ計4機種を販売
 3Q : パチンコ、パチスロ計6機種を販売し概ね計画通り完売

<(株)エース電研>

- 機器設置工事等が堅調に推移したことに加え改刷対応も追い風
- 同社の中期経営計画を現在鋭意策定中

1. 業務提携の目的と理由

両社の長年における事業ノウハウを共有し、両社の発展はもとより遊技業界全体の発展に資する事業を共同で展開することを目的として、当社グループが有するマーケティングノウハウとダイコク電機株式会社が情報システム事業を通じて生み出した市場分析ノウハウを相互に活用することで新たな製品・サービス、ビジネスモデル等の創出を推進し、パチンコ・パチスロという遊びに日常的なレジャーとしての新たな価値を生み出しファン拡大に資する事業を共同で展開するため、業務提携を行うことといたしました。

2. 業務提携の内容

両社は、以下の各事業について共同して検討、研究を行い、展開して参ります。各事業の詳細な内容は、両社で設置した協議会にて、今後検討を進めて参ります。

- ① AIと市場分析ノウハウを活用した新たなファンを開拓するホール集客システムの構築
- ② IP(コンテンツ)の相互利用による新たな遊技機の共同開発
- ③ 共同開発した遊技機のフィールズ株式会社による販売
- ④ ファンの快適な遊技に資する遊技空間の共同研究
- ⑤ この他、遊技業界全体の発展に資する商品・サービスの共同研究・開発

	1Q	2Q	3Q	4Q
パチンコ	P GANTZ覚醒Sweet2000 P 弾球黙示録カイジ沼5 超欲望129×87%ver. P クイーンズブレイド4 UNLIMITED 0.9万台	P DD北斗の拳3 P 七つの美德 ゴールデンエンジェルタイム スイート99Ver. P 新世紀エヴァンゲリオン ~未来への咆哮~ PREMIUM MODEL(再販) 1.2万台(累計2.1万台)	P 宇宙戦艦ヤマト2202 超波動 スマパチ SSSS.GRIDMAN P ゴジラ対エヴァンゲリオン セカンドインパクト G e ゴジラ対エヴァンゲリオン セカンドインパクト G 破壊神覚醒	e ULTRAMAN 2400★80 Coming soon
	L ゴジラ対エヴァンゲリオン(増産) スマスロ ストライク・ザ・ブラッド L ウルトラマンティガ スマスロ ストリートファイターV 挑戦者の道 2.1万台	L ゴジラ対エヴァンゲリオン(増産) L アカメが斬る! 2 0.7万台(累計2.8万台)	L 真・一騎当千 スマスロ モンスターハンターライズ L 犬夜叉 2	L 東京喰種 Coming soon
合計	2.9万台	1.9万台(累計4.9万台)		

※プライベートブランドは青枠で記載

Appendix

2025年3月期 中間期 決算説明資料

連結B/S、連結C/F

(単位：億円)

連結B/S	2024年3月末	2024年9月末	対前期増減額
流動資産	648.4	529.9	△118.5
固定資産	334.3	347.1	+12.7
資産合計	982.8	877.0	△105.7
流動負債	306.1	286.3	△19.7
固定負債	116.8	101.0	△15.7
負債合計	422.9	387.3	△35.5
純資産合計	559.8	489.6	△70.1
負債純資産合計	982.8	877.0	△105.7

連結C/F	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	対前期増減額
営業キャッシュ・フロー	△24.4	△12.6	+11.7
投資キャッシュ・フロー	△46.7	△13.3	+33.4
財務キャッシュ・フロー	△14.4	△109.5	△95.0
現金及び現金同等物の増減額	△85.6	△135.5	△49.8
現金及び現金同等物の期首残高	364.9	348.1	△16.8
現金及び現金同等物の期末残高	279.2	212.5	△66.7

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

※ 2024年3月期については、「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）等を反映した数値を記載

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

免責事項

本資料に掲載されている当社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場における競争状況、取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。